



津川 孝行

Takayuki Tsugawa

1974年、大阪府生まれ。酒、煙草、車、音楽を愛する自由人。「図面を書いている時以外はずっとしゃべっている」(奥様談)という明るい性格。「きらびやかでなくても、それぞれの生活に溶け込んでいくような外観」を目指し、地元密着の姿勢で日々18時半まで仕事に励んでいる(18時半以降は酒解禁となるため)。

「想いの詰まった空間を創造」

ここでしかできない 独創的な設計・工事に 持てる力を注ぎ込む それが『創志園』クオリティ



❖ 想いが共有できること それが互いの必須条件

堂々たる体躯にドレッドヘア。夜の酒場が似合いそうなインパクトのある風貌。それが『創志園』代表の津川氏。日焼けした肌に隠された彼の素顔は、真の職人。職人の仕事は、長い時には1年を費やすこともあるという綿密な打合せに始まる。設計図や立体図は全て手書き。それは一つひとつの仕事に自分の想いを注ぎ込むため。現場の工事も基本的に下請けは使わず、全て自分たちで行っている。「壁も扉も草花もとにかく全部に絡んでいきたい(笑)。でも、それがうちのクオリティを守ることに繋がると思うから。最終的には打合せもカタログなしに進められたらいいですね。お客様のニーズを自分の頭の中に投影し、

それを形にして返すことができたら、決して不可能なことではないと思うんです」。

独自のスタイルを貫くために、時には断る依頼もある。「安さや合理性だけを求める方にはうちはお勧めできません。たとえば、うちで1万円の仕事を請け負ったとしても、自分たちはまず1万円です。それだけのことができるかを考え、それを形にする。だから1円でも値切られるとクオリティが保てなくなるんです」。

『創志園』で働く人たちが想いが共有できること…当たり前前のように当たり前でないこの条件こそが、仕上がりや満足感を大きく左右するのだ。

そんな津川氏のお勧めが「以計画」。これは、新築の外構工事などの際、予算を全部使って一度に仕上げるのではなく、必要最低限の工事だけをして、その後じっくり時間をかけて部分ごとに完成させていくという長期的なプランのこと。そうすることでプランを練る時間も費用を貯める時間でも、双方にメリットが生まれるという。

❖ 業者と客の垣根を越えて 夢は男が集う無償のバー

近い将来、地元の人が気軽に来られるコミュニティハウスを創りたいという津川氏。昼は次世代のガーデナーを育てる花の教室、夜は無償のバーだそう。打合せも工事も昼間が中心なので、ご主人との関わりがどうしても薄くなる。だから、ご主人も含めて大人の男だけで集まれる場所があったら自分もおもしろいかなって。

仕事を楽しんでいない作り手からいいものは生まれない。津川氏を見てみると、それが真実だとよくわかる。



創志園

そうしえん

京都府木津川市梅美台7-4-1-105

☎0774-72-5926

FAX 0774-72-5916

代表者/津川 孝行

Mail info@soushien.com

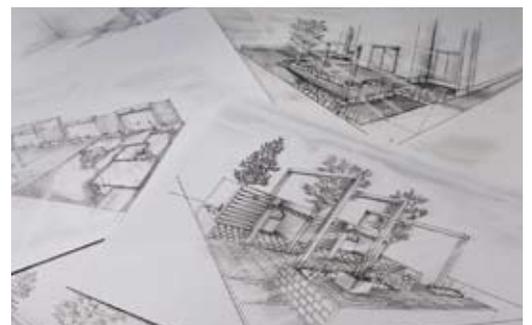
HP <http://www.soushien.com>

【施工エリア】奈良県北部・京都府南部

創志園

検索

二級造園施工管理技士、二級土木施工管理技士



津川氏による手書きの設計図。汗をかくので軍手も必須。「手間はかかるけれど、この形が一番お客様にわかりやすいと思うから」。